

京都総評 第95回定期大会

日時 9月2日(土) 10時~16時30分
(予定)
会場 ラポール京都ホール

京都総評

京都地方労働組合総評議会：発行
第281号

発行所
京都市中京区壬生仙念町30-2 ラポール京都5階
京都地方労働組合総評議会(京都総評)
電話 075(801)2308 FAX 075(812)4149
E-mail sohyo@labor.or.jp URL http://www.labor.or.jp/sohyo/
(発行責任者) 梶川 憲 (編集責任者) 吉岡 勝

京都労働相談センター
電話 0120-378-060 E-mail scent@labor.or.jp

京都市役所に向けて、平和行進する参加者



大軍拡・「戦争しに行く国」NO!

6月に平和行進、7月に京都市内網の自行進、沖縄連帯集会、8月には原水爆禁止世界大会、平和のための京都の戦争展、などの時期は平和を考える取り組みがたくさんあります。改めて、平和のこと、核兵器廃絶のこと、憲法9条の大切さ、などを考え、語り合う機会にいきましょう。
岸田政権がすすめる大軍拡路線は、日本を「戦争しに行く国」にしてしまつことにつながります。大軍拡を止めさせ、憲法がいかされる平和な日本を未来に引き継ぐために、「緊急署名」を軸に取り組みを強めましょう。

「緊急署名」を さらに広く 集めよう

昨年12月に国会審議もなく実施された安保3文書の閣議決定に基づいて、岸田政権は防衛費(軍事費)を5年間で43兆円に大幅増額し、敵基地攻撃能力を保有するとしてアメリカからトマホークの大量購入を予定するなど軍備増強をすすめるようとしています。そして、沖縄・南西諸島に自衛隊ミサイル部隊の配備強化をすすめています。

防衛費(軍事費)の大幅増額を行うためには、医療・福祉・教育など社会保障や国民の暮らしに直結する予算が削られ、さらに消費税などの増税によってその財源を確保することが狙われるのは明らかです。

「大軍拡・大増税」を許さない世論をいっそう大きくひろげていくために、今取り組んでいる「大軍拡・大増税の撤回を求める緊急署名」をさらに広く集めて政府に届けることが大事です。当面7月末を第3次集約とし、8月上旬に提出行動が予定されていますので、急いで取り組みを強めましょう。

平和の願い繋げて 平和行進



滋賀からの引継ぎ式であいさつする梶川議長

「19の日」行動で市民にアピール



平和を力強く アピール

1958年から毎年取り

り組まれている平和行進。ここ数年、コロナ禍で規模を縮小したり、宣伝車の運行のみとなりなど通常の平和行進ができませんでしたが、今年6月21日は東京から広島コースが滋賀から京都へ入り、ラクト山科公園で引継ぎ式が行われました。引継ぎ式では梶川議長

長があいさつしました。その後、東京から広島コースは乙訓・山城地域の各自治体を回り、6月26日に奈良に引き継がれました。

7月7日には、京都市内網の自行進が取り組まれ、各行政区で多様なデモに取り組みされました。平和行進を通じて、核兵器廃絶、「戦争する国」づくりNO、平和と憲法を守ろう、と各地でア

ピールしました。

平和な日本を 未来へ

8月には原水爆禁止世界大会が行われます。また、8月1日から6日に長浜バイオ大学京都キャンパスで平和のための京都の戦争展が行われます。平和を考えるこうした取り組みに積極的に参加し、大いに語り合い、平和な日本を未来に引き継ぐために、ひとり一人ができる活動すすめていきましょう。

沖縄連帯集会

基地のない平和な沖縄・日本・東アジアを 沖繩を 再び戦場に するな!

歌舞団を先頭にデモでアピール



「沖縄を再び戦場に
するな」「辺野古新基地建設を許さず、普天間基地を返還せよ」「南西諸島のミサイル軍事要塞化反対」「京丹後のXバンドレーダー基地の撤去を」「トマホークの舞鶴海上自衛隊の配備・祝賀弾薬庫増強反対」をスローガンに、沖縄連帯集会が7月1日に円山音楽堂で行われました。

消費品?!
集会では、沖縄国際大学・大学院教授の前泊さんは、国会審議

泊博盛さんが「安保関連3文書と台湾有事」と題して講演。前泊さんは、国会審議

もなく閣議決定された安保関連3文書によって、異次元の大軍拡と敵基地攻撃能力の保有がすすめられており、その背景に「台湾有事」があげられている。そして、沖縄・南西諸島に自衛隊ミサイル部隊の配備強化が急ピッチですめられている。危機をおお

って自衛隊基地の強化をすすめているが、有事の際に軍事基地が標的になるのはウクライナ戦争からも明らかだと指摘しました。

そして、太平洋戦争の沖縄戦の教訓は「軍は民を守らない」だと述べ、「今の状況は日本がアメリカの消耗品として捨てられる危険があるのではないかと訴えました。

にぎやかに デモでアピール

集会のあとは、月夜の月歌舞団を先頭に市役所前までデモを行い、「沖縄を戦場にするな!」「南西諸島のミサイル配備反対!」「憲法9条を変えるな!」などとコールし、市民や観光客にアピールしました。

TUBUYAKI

六月二日
に厚労省が
発表した人
口動態統計
によると、
二〇二二年
の出生数が
77万747
人で、前年
より4万8
75人減少し過去最低を
更新し、少子化がますます
深刻な問題となつてい
ることが浮き彫りになり
ました▼昨今の子育てに
関連する言葉に「子育て
罰」というものがありま
す。これは出産と育児に
関する責任と負担の大き
さに比べて、社会的な援
助や理解が乏しいため、
子どもを持つことが
「罰」のようだと感じて
しまう育児世代の意識を
表したものです▼少子化
をめぐっては、他の先進
国でも大なり小なり同じ
ような問題に直面してい
ますが、ドイツやフラン
スでは教育や児童福祉に
注力して出生率の向上
や、少子化の進行を遅ら
せることに成功していま
す▼この結果をもたらした
要因は、制度の整備の
みならず、子育ては社会
的に価値のある営みであ
るといふ社会的理解の広
がりがあるように思いま
す▼現在、政府がすす
めようとしている「異次元
の少子化対策」をパフォ
ーマンスに終わらせず、
子どもや親を経済的にも
精神的にも支え、励ます
ものにしていく必要があ
ります。(H・S)

